

「うれしい」がっぱの

ポイントカード&ポイントストラップ

〜新システム「mカード」利用開始!〜

ACTIVE KUMIAI

平成8年よりポイントカードによる販売促進に取り組んできた大月商店街協同組合(天野太文理事長)では1月15日に新ポイントシステム「mカード」の利用を始めた。

組合では17年前に導入したmカードが製造中止になることに

伴い、新たなシステムへの移行に向けて組合事業の最重点課題として検討を重ねてきた。

リニューアルにあたっては、平成25年に大月市から「コミュニティ助成事業」の助成を受け、中央会、商工会など関係機関の協力も得ながら「大月商店街ポイントカードシステム構築事業」に取り組んできた。

新しいカードは、全国各地の商店街等のポイントカードシステムの導入実績のある(株)LSI(岩手県)のシステムを採用。旧来の磁気タイプのカードと違い、新カードは各店舗のタブレット端末にカードをかざすだけでポイントを付与できる。また、これまでの同じカード型のほかに縦3cm、横2.3cmのストラップ型のポイントカードを「mカードストラップ」として全国で初めて導入し、消費者の使いやすさにも配慮した。

その他、定期間カードの利用がない場合にカード所有者の家族などに電話やメールで連絡が届く「ご高齢会員様の安否確認サービス」、商店街に設置した街かどステーションにmカードストラップをかざすことで時間と居場所が確認できる「お子様見守りサービス」、保有ポイント

を寄付金や支援金として使える「公共団体及び災害支援サービス」などの機能も備えている。

新たなポイントカードシステムは、様々な機能を加え消費者の利便性を向上させることで利用者の増加と利用率の向上を目指している。

なお、ポイントカード「mカード」が利用できる加盟店は36店舗で、1月15日より利用を開始している。



mカード



街かどステーション